

大田区サッカー協会少年部

＜2019年度 U12リーグ、Jrリーグ 大会要項＞

2019. 3. 11

※趣 旨 少年サッカーの発展を目指し、サッカーレベルの向上を目指すとともに大田区全域の交流を図る。
サッカーを通じて体力の強化及び健全なスポーツ精神の高揚を図る。

※基本理念 JFA の掲げる「**プレーヤーズファースト、リスペクト、フェアプレーベストサポート**」を大田区サッカー協会少年部でも基本理念とする。

※主 催 大田区サッカー協会

※参加資格 ①共通：2019年度「大田区サッカー協会」に加盟した小学生チームとする。

②U12：6年生・5年生を中心に編成したチーム（4年生の参加は可）

③U12：8ブロックリハウスリーグに主体的に出場していない選手で構成したチーム。

交代を頻繁にするなどで、全員が主体的に出場していないかのような理屈は通りません。

その場合は全員がリハウスリーグ主体の選手と捉えます。

④Jr：4年生を中心に編成したチーム（3年生の参加は可）

《特記事項》*8ブロックリハウスリーグに主体的に出場している選手は大田区U12リーグには出場できない。現在、8ブロックに登録していないチームでも大田区以外のチームで8ブロックに登録・出場している選手が所属している場合の考え方は同様。

主体的に出場していない選手についての大田区U12リーグの参加判断については、チームマネジメントによるものとする。

*複数エントリー（U12リーグ、Jrリーグ）

同一リーグ2チーム以上エントリーの場合・・・同選手が重複して出場することはできない。

同期内1チームのみの出場とする。

*4年生のU12リーグ出場

1選手に対してJrリーグ1チームとU12リーグ1チームとの重複出場は認める。

U12がABある場合、同選手が両チームの試合に参加することは認めない。

*大田区内でのクラブ移籍

移籍前クラブでのリーグ戦出場があった場合、移籍後のクラブでの同期内リーグ戦出場不可。

ただし、前期中（後期開始前まで）の移籍の場合、後期のリーグ戦には出場を認める。

区外からの転校などによる移籍の場合は、移籍時期にかかわらず出場を認める。

*複数エントリーチームのチーム編成（選手の入替え）

前・後期それぞれ、リーグ開催中（1試合でも出場した場合）の入替えは不可。

前期から後期になるタイミングでの編成変更は可能。

*大田区サッカー協会主催の公式戦は、他のサッカー協会・連盟等の組織に加盟するクラブとの複数出場は原則認めない。（8ブロックに同一クラブで出場している場合は除く。）

※参加費 1チーム6000円（U12・Jrともに）×チーム数 振込先は協会共通です。（別途資料確認）

※開催期間 前期4月～9月（原則8月は除く） 後期10月～1月

進行具合により、前期終了、後期開始、後期終了は前後する。

※会場 六郷グラウンド ガス橋少年用グラウンド 昭和島グラウンド を中心に開催。

※運営方法 * 8人制で実施。

* 審判は U12 : 3 審制 Jr : 2 審制 で実施。

* 試合時間

U12 : 20分 - 5分 - 20分 Jr : 15分 - 5分 - 15分

ハーフタイムは前半終了の笛から後半開始までの時間とする。

ただし、特別な事情がある場合には適切な時間設定を検討し対応する。

* リーグ戦の順位決定方法 <①⇒②⇒③⇒④⇒⑤の優先順で順位決定>

①勝ち点：勝ち3点 引き分け1点 負け0点

勝点と同じ場合：②得失点差 ③総得点 ④当該チーム同士の対戦成績 ⑤PK 戦又は抽選

* リーグ・ブロックの設定および昇降格

○U12 リーグ

3部制で前期と後期を行う。各期の成績により次期の昇降格決定。

1部1ブロック 2部2ブロック 3部3ブロックをベースにチーム数により適切に調整

1部9チーム 2部各8チーム 3部はチーム数により各ブロック6～8チーム

【昇降格】<前・後期共通>

1部下位4チームが2部降格 2部各ブロック1位・2位が1部昇格

2部各ブロック下位3チームが3部降格 3部各ブロック1位・2位が2部昇格

エントリーチーム数増減により昇降格に調整が必要な場合については別途検討する。

【ブロック分け・抽選】

前期：前年度後期の成績により、1部は昇降格確定で自動編成。2部・3部は昇降格確定後、オープン抽選。

リーグ戦のエントリー状況に応じて、協会で検討し調整する場合がある。

後期：前期の成績をもとに、自動的にブロック編成する。(以下ベースとなる自動編成)

1部 : 前期1部1位・2位・3位・4位・5位・2部A1位・2部B1位・2部A2位・2部B2位

2部A : 前期1部6位・1部9位・2部A3位・B4位・5位・3部あ1位・う1位・い2位

2部B : 前期1部7位・1部8位・2部A4位・5位・B3位・3部い1位・あ2位・う2位

3部あ : 前期2部A6位・2部B8位・3部い3位・う4位・え5位・う6位・い7位・あ8位

3部い : 前期2部A7位・2部B7位・3部う3位・え4位・あ5位・え6位・う7位・い8位

3部う : 前期2部A8位・2部B6位・3部え3位・あ4位・い5位・あ6位・え7位・う8位

後期からの追加参加チームは3部に適切に割り振って編成を確定する。

○Jr リーグ

前期：3年生大会の成績をもとにシードチームを決定。シード確定後オープン抽選。

後期：前期成績により順位ブロックを自動編成。後期からの追加参加チームは最下位リーグ。

前・後期で進行がスムーズになるよう、エントリーに応じてブロックチーム数を設定。

* 同クラブ複数チームエントリーの扱い

複数チームエントリーは ※参加資格<特記事項> に準じて行い、当該クラブは各チームに対応できるよう責任をもって準備する。(指導・審判含めて)

原則として、同クラブの別チームが同ブロックに入らないようできるだけ調整する。

ただし、U12リーグ後期で調整ができない場合やJrリーグ後期の順位ブロックについては、同ブロックに同クラブのチームが入ることがある。

年度や各期の変わり目においてチーム減がある場合、減らすチームはクラブの判断で決定。

※競技規則

- * 日本サッカー協会「競技規則」に準ずる。ルール改訂は、原則翌年度からの適用とする。
- * 日本サッカー協会「8人制サッカールール」を一部採用する。
- * 東京都少年サッカー連盟が定めた事項を一部採用する。
- * 試合開始時に8名以上そろっていること。
- * 試合時のユニフォームは、審判のジャッジに支障のないよう、各チームの判別がしやすい色合いになるよう試合前に調整する。(やむを得ない場合、必要に応じてビブスでの対応可)
GKも原則適切なGKユニフォームを着用。色の調整がつかない場合はビブスで対応する
- * ベンチの選手・コーチは、ピッチ内の選手と被らないよう配慮する。(ビブス等を着用)
- * インナーウェアは色をチームで統一すること。(ユニフォームと同色でなくても可)
- * 原則、眼鏡は身につけない。(割れない素材のスポーツタイプの物は使用可)
- * 選手・審判は試合開始10分前には必ず集合し、用具・爪等のチェックを行う。
- * ボールは4号球を使用する。試合球は各チームで用意する。(空気圧の基準：0.6～0.8)
- * レッドカードの対象選手は次の1試合に出場出来ない。
- * レッドカードにより退場者がでた場合や怪我人が出た場合は、交替要員から選手を補充して試合を続ける。交替要員がいない場合は**6名まで試合続行とする。(ケガ人を無理にピッチに立たせるなどはしない) 6名を割る場合は試合を中断し、運営チームが状況を少年部に報告する。少年部は状況を確認し、対応についての判断をして後日通知する。**
《試合成立》 《試合不成立再設定》 《没収試合(不戦敗)》 など
- * レッドカード対象選手の出場停止に関しては、原則協会では管理しない。上記定めに従いチームで対応する。ただし問題があった場合は理事会、常任理事会にて協議する場合がある。
- * フリー交代制(同じ選手が何回でも交代できる)。
フィールドプレーヤーはインプレー中に主審に告げないで交代できる。
ゴールキーパーはアウトオブプレー時に主審に告げて交代する。
ベンチサイドのハーフウェイライン両側3mの交代ゾーンから選手の出入りを行う。
- * ベンチ入りはコーチ3名以内(2名以上が望ましい)、給水補助の保護者(あくまで給水補助)2名以内とする。
- * **Jrリーグについては、GKコーチ1名をゴール裏に置くことができる(前期試行継続)**
GKコーチは必ずチームの認めるコーチが行い、一保護者が行うことのないようにする。
GK以外の選手への指示は厳禁とし、審判の判断でゴール裏からの退去を命じる。
GKコーチが明らかとなるよう、ビブスを着用する。
- * 応援サイドはベンチと逆サイドとする。～～応援は節度をもってお願いします！～～
- * 給水タイムについて
概ね前・後半それぞれの半分の時間を目安に、アウトオブプレー時に主審の合図で行う。
1分間を目安とし、ロスタイムにカウントしない。選手はピッチから出ない。
コーチからの戦術的指示は制限しないが、あくまで給水中の会話の範囲で行う(試行)
選手交代は可とするが、必ず交代ゾーンで交代し、入った選手は主審に報告する(試行)
アウトオブプレーとなった場所から、主審の合図で適切な再開方法で再開する。
《給水タイムの基準となる温度》

・ WBGT (湿球黒球温度)	乾球温度	湿球温度
25℃	28℃	21℃

《試合中止の基準となる温度》

・ WBGT (湿球黒球温度)		
31℃ (原則中止)	28～31℃ (厳重警戒)	25～28℃ (警戒)

※審判

* U12は3審制。(主審一名、副審二名) Jrは2審制(主審一名、副審一名)

* 2審制の実施方法については、別途審判委員会より出るガイドラインに従ってください。

《ブロック担当方式にすることで、複数会場対応の可能性が高まるため、Jrを2審として少しでもチーム負担の軽減を図るものです！》

* 原則として審判資格を持つ者が行い、ワッペンを付ける。

* 原則として審判服は黒色とする。(審判服として販売されているもの)

* 冬季、黒系のインナー、手袋の着用は可。ニット帽、ネックウォーマーなどの着用は不可。

* 審判に不測の事態が起こった場合は、主審チームから1名審判を補充して対応する。

* 眼鏡の使用は不可とする。やむを得ず必要な場合、ゴーグル式の安全なものとする。

* フェアプレー精神あふれる行動やリスペクトに値する行動をとった競技者に対し、
【グリーンカード】の提示を推奨する。

※競技フィールド *推奨サイズ U12リーグ・Jrリーグ 共通：68m×48m

《ガス橋・昭和島のピッチサイズが固定であることを考慮し、六郷で実施の場合でも
U12・Jr共通のサイズで試合を実施することとする》

ゴールエリア4M ペナルティエリア12M PKスポット8M

ペナルティアーク7M センターサークル7M コーナーアーク1M

ただし、会場や特別な事情などを判断し適切に対応が必要な場合がある。

※注意事項 *リーグ戦では協会の大会本部は設置しない。各試合該当チームでの試合運営とする。

第一試合開始までの流れ

①設営(ピッチづくり) ②代表者が集合して(ユニフォーム、審判打ち合わせ、季節により
給水を入れるかなど)打ち合わせを行う。

*選手、審判の集合時間は必ず守り、試合開始時間を厳守する。

～～試合進行に各チームご協力お願いします！～～

*試合結果報告は最終試合の主審チームが行う。

ブロックの運営担当チームに確実に報告し、ブロック運営チームから協会へ報告する。

*リスクマネジメント

○AED

六郷グラウンド：管理事務所で管理されているものを貸与して使用する。

割り当てされたチームが管理事務所まで取りに行き、17時までに返却。

ガス橋少年：丸子橋の袂にある交番に設置されているものを使用する。

昭和島：管理棟内に設置されているものを使用する。

○急な気象変化への対応

雷：打ち切り中止。速やかに撤収すること。

ひどい強風：ゴール固定状況を確認すること。

高温多湿：基準に基づいて、実施前の段階では協会で判断する。

試合実施中については、運営チームを中心に、現地で判断する。

*** 駐車・駐輪**

○駐車：グラウンド指定の駐車場、近隣のコインパーキングを利用すること。

薬局、ファミレスなど店舗への違法駐車は絶対にしない。

○駐輪：一般の歩行者・利用者に迷惑とならないよう、決められた場所・決められた範囲内にできるだけ詰めて整列させて停めること。

○昭和島グラウンドに新たに駐輪場所ができました！

テニスコートも完成し、他の利用者の増加も考え、指導者は公園外側の駐輪場（新設）に停めるようにしてください。

『リーグ戦、大会を通じて徹底して頂けるようにお願いします。』

*** 試合運営担当**

○当日の運営担当を指定されたチームは担当者を決め、協会やクラブからの連絡を受けられるようにしておくこと。

天候・事故・トラブルがあった場合、中心となって対応し、必要に応じて協会へ連絡する。

（人選はチームに任せるが、できるだけクラブ代表も承知しておく。本部張り付きは不要。

苦情が入った場合などに、協会 ⇒ クラブ代表 ⇒ 運営担当者 と連絡が入る場合がある）

○トラブルがあった場合、協会に報告する。可能であれば、その場で対応・解決が望ましい。

～～日経ってからの調査・対応はこじれたり、事実確認が難しくなったりします。～～

*** 緊急連絡** 必要な場合は下記少年部理事へお願いします。

岩井 （０９０－４６０３－９３８７）

菊地 （０９０－８５０６－７２８７）

※罰則規定 ①不都合日申請を提出しないチーム

②日程配信後にチーム事情で参加を取り消したチーム（インフルエンザ等の場合は除く。）

③連絡未確認等による当日の出場辞退

試合の有無に関係なくリーグ戦・大会による審判割り当て、設営、撤去等の業務を割り当てる。

審判については変更で影響を受けた対戦チームの割り当て分を差し替える。

現行では『不戦敗』の規定はありません。現在『不戦敗』も含めて対応方法を検討中。

2019年度 前期U12リーグ 《前年度後期からの昇降格》

※エントリーの状況によって調整するが、昇格決定チームは原則変更しない

1部 ⇒ 2部【降 格】FCハイロウズ東京 萩中羽田SC ヴィクトワールSC フェニックスFC

2部 ⇒ 1部【昇 格】ミッキーSCB 雪谷FC 馬込FCA 馬三SC

2部 ⇒ 3部【降 格】蒲田ボンバーズ 東京ベイFC 大森キッカーズSC 池2FC 東一FCB
山王キッカーズ

3部 ⇒ 2部【昇 格】入一FC 大田クラブ 池上FCA 東一FCC

【調整について】

例) ミッキーSC Bがエントリーしない

- ・ 2部から1部の昇格が1チーム減の3チームとなる
- ・ 1部 6位 FCハイロウズ東京 ⇒ 残留 (1部9チーム確保)
- ・ 2部4チーム減に対して1部降格3チームのため1チーム不足
- ・ 2部A 6位 蒲田ボンバーズ ・ 2部B 6位 東京ベイFCによる残留抽選(原則抽選辞退は認めない)
(2部16チーム確保)
- ・ 3部で各ブロックのチーム数を調整する

他のチームのエントリー状況によってこの通りにはならないが、原則として昇格チームは決定とし、降格チームを残留させる(2部は抽選あり)形で調整し、1部9チーム・2部8チームは確保する。